

どのむかしばなしかな？①

なまえ

むかしばなしのあらすじと、ただし「だいめい」をせんでむすびましょう

1

あるどうぶつが、たすけてくれたおじいさんとおばあさんにおんがえしをするはなしです。おんがえしのしかたはじぶんの「はね」と、かってきてもらった「いと」をおつてしあげた「きれいなぬの」をうつておかねをかせぐことでした。

2

おしょうがつがちかづいているのに、もちもかえないおじいさんとおばあさんがいました。つくつていた「かさ」をうり、もうけたおかねでおしょうがつのためものをかうつもりが、まったくうれまませんでした。

3

おじいさんがやまでいつものよにきをきっていると、おひるのじかんになりました。おばあさんがにぎってくれたおむすびをたべようとすると、コロコロころがりあなへはいつてしまいました。

4

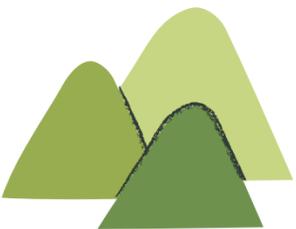
おじいさんがやまへしばかりをしているあいだ、おばあさんはかわでせんたくをしていると、おおきなくだものがながれてきました。いえにもちかえり、たべるためいきろうとしたらげんきなおとこのこがとびだしてきました。

おむすびころりん

ももたろう

つるのおんがえし

かさじぞう



どのむかしばなしかな？②

なまえ

むかしばなしのあらすじと、ただし「だいめい」をせんでむすびましょう

1

おにたちのえんかいにぐうぜん
いあわせたおじいさんが、おどりを
ひろうするはめになりました。
すると、おにたちにおどりをほめ
られました。ひよんなことからず
っときにしていたあるものを、と
られてしまいます。

こぶとりじいさん

2

おじいさんがきつねのこどもに
きのみをとってあげました。ある
ひ、こぎつねとかあさんぎつねか
らおれいと「ずきん」をもらい
ました。ずきんのおかげで、ちょ
うじやさまのむすめがやまいにふ
せているりゆうがわかりまし
た。

かちかちやま

3

げんきなおとこのこは、やまの
くまとすもうをとってかつほどの
ちからもち。なかまのどうぶつた
ちとでかけているとき、はしがな
くなっていることにきがついたお
とこのこは、きをたをしてはし
のかわりにしました。

ききみみずきん

4

うさぎとたぬきがでてるおは
なしです。わるいたぬきのせいで
おばあさんがなくなり、なげきか
なしんでいるおじいさんをうさぎ
が、おばあさんのあだうちのため
にたぬきたいじをします。

きんたろう



どのむかしばなしかな？③

なまえ

むかしばなしのあらすじと、ただし「だいめい」をせんでむすびましょう

1

ひとつめのおおとこに、たべものなどをとられてこまっていたむらのひとたちは、おおとこをこらしめようとさくせんをかんがえました。

2

おやゆびほどのおおきさのおとこのこが「さむらいになる」といって、きょうのみやこにでていきました。つかえているいえのおひめさまがおににさらわれましたが、おにたいじをしておひめさまをたすけます。

3

まずしいけれどまじめなわかものが「かんのんさま」にびんぼうせいかつかからぬけだしたいとねがいました。かんのんさまからおつげをもらい、おつげどおりにこうどうすると、いろいろなおことがおきました。

4

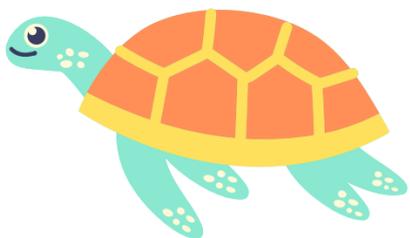
りょうしのわかものが、はまべでこどもたちにいじめられているかめをたすけてあげました。かめはおれいにと、わかものをうみのなかのりゅうぐうじょうにつれていきました。

うらしまたろう

わらしべちょうじや

だんだらぼっち

いっすんぼうし



どのむかしばなしかな？④

なまえ

むかしばなしのあらすじと、ただし「だいめい」をせんでむすびましょう

1

としよりのきこりとわかいきこりがやまできをきっていました。そのやまは「まもの」がでるといいうわさがあり、としよりのきこりは「まもの」がでないかとけいかいしていました。

2

あめがふるたびにながれてしまふはしがありました。むらびとたちからはしをつくるようにたのまされたおとこがなやんでいると、おにが「おまえのめだまとひきかえにはしをつくってやる」といい、はしをつくってしまいました。

3

おちやのかまにへんしんしていた「たぬき」がひよんなことからまずしいおとこにひきとってもらい、つなわたりなどのげいを見せとおかねをかせぎ、おとこはおかねもちになりました。

4

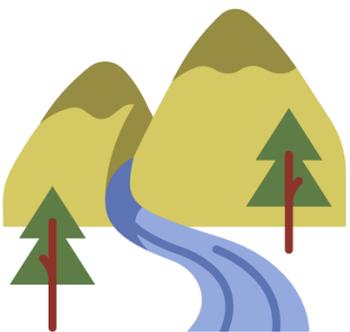
こころやさしいおじいさんといじわるなおばあさんがくらしていました。あるひ、おじいさんがはたけからいえへもどるとちゆう、けがをしているどうぶつをみつけました。かわいそうにおもったおじいさんはいえにつれていき、あてをしてあげました。

ぶんぶくちやがま

うしおにぶち

だいくとおにろく

したきりすずめ



どのむかしばなしかな？⑤

なまえ

むかしばなしのあらすじと、ただしい「だいめい」をせんでむすびましょう

1

1 ころやさしいおじいさんとおばあさんと、よくぶかいじわるなおじいさんとおばあさんがとなりどうしにすんでいました。あるひ、やさしいおじいさんのところにいぬがはしってきました。いじわるじいさんのはたけをあらしているというのです。

2

2 たけとりのおじいさんがたけをきつてみると、ひかりかがやくたけをみつめました。おじいさんがきつてみると、そのなかにはちいさなおんなのこがいたのです。こどもものないおじいさんはいえにつれてかえり、おばあさんとそだてることにしました。

3

3 むかし、かみさまがどうぶつたち「こんどのがんたんにわたしのところいきなさい。じゅうにはらぬまでについたものは、これからいちなんこんたいでどうぶつのだいしょうとする」とおふれをだしました。

4

4 びょうじやくなおかあさんとおこのこがくらししていました。おあさんにくすりをかいたくてもおかねがたりず、かえません。ゆうふくなおじいさんにおかねをかりてくすりをかいました。おかねをかえすために、おとこのこはいっしょうけんめいはたらきました。

かぐやひめ

じゅうにの
はじまり

はなさかじいさん

ごんぞうむし

